

第30回日本木管コンクール
 (クラリネット部門)
 会場:東条文化会館コスミックホール
 発行日 2019年10月27日(日)
 (第3号)

ほっとねっと

発行:日本木管コンクール委員会
 〒673-1311
 兵庫県加東市天神66
 TEL 0795-47-1500



本選出場者5名決定



No.110 吉本 拓



No.120 亀居 優斗



No.14 ヘルバ ショ タラゴナ ヲアリ



No.41 福井 萌



No.43 河西 拓也



コンクール3日目。二次予選エントリーの15名の正念場。演奏者の緊張感でホール全体が張り詰める。
 午後7時30分、審査発表で5名が決定しました。

クラリネットという楽器の魅力を最大限に活かし、確かな技術と表現力が問われる。何れ劣らぬ音の求道者たち、力の限り悔いのない演奏を期待する。

今日は、大会審査員と並行して、一般審査員が最も感動を得た演奏者を選ぶ「コスモス賞」の選出も行われる。この審査も第5回のコンクールから数えて26回目になる。本選とコスモス賞の最終結果は、本日の表彰式にて発表されます!

栄光は誰の手に!



いよいよ本選、最終審査に! 12時30分スタート

演奏順	開始時間	エントリーNo.	氏名	伴奏者	演奏曲目
1	12:30	110	吉本 拓	小澤 佳永	(A)① (B) Ingvar Lidholm: Amicizia
2	13:05	120	亀居 優斗	仲地 朋子	(A)② (B) Edison Denissow: Sonate für Klarinette
3	13:55	14	ヘルバ ショ タラゴナ ヲアリ	大島 史子	(A)① (B) Heinz Holliger: Rechant
4	14:30	41	福井 萌	宇根 美沙恵	(A)② (B) Rudolf Jettel: Funf Grotesken, für Solo klarinette in B oder A
5	15:20	43	河西 拓也	小澤 佳永	(A)③ (B) Bruno Mantovani: Bug

本選

下記の(A)グループの中から1曲を選択し演奏すること。
 演奏時間の合計は(A)(B)合わせて35分以内にまとめること。
 (出入り、曲間等の時間は含まない)
 (A)は全曲演奏すること。ただし、ピアノ演奏部分はカット可。
 (B)は35分以内におさめるためにカット可。

- (A)
 ①C.M.v.Weber: Clarinet Concerto No.1 f-moll Op.73 ウェーバー:クラリネット協奏曲 第1番 ヘ短調 作品73
 ②C.M.v.Weber: Clarinet Concerto No.2 Es-dur Op.74 ウェーバー:クラリネット協奏曲 第2番 変ホ長調 作品74
 ③Jean Francaix: Clarinet Concerto ジャン・フランセ:クラリネット協奏曲
 ④Carl Nielsen: Clarinet Concerto Op.57 カール・ニールセン:クラリネット協奏曲 作品57
 ⑤Aaron Copland: Concerto for Clarinet アーロン・コープランド:クラリネット協奏曲
 (B) 1970年以降に作曲された無伴奏作品(出版されている作品に限る) ※ただし、1次予選と重複してはならない



加東市東条文化会館
 コスミックホール

ホームページ
<http://cosmic-hall.org/>



第30回日本木管コンクール
(クラリネット部門)
会場: 東条文化会館コスミックホール
発行日 2019年10月27日(日)
(第3号)

ほっとねっと

発行: 日本木管コンクール委員会
〒673-1311
兵庫県加東市天神66
Tel 0795-47-1500



～ミニコンサート～

◆日時 2019年10月27日(日)

本選の審査終了後30分程度(16時頃からの予定)

- ◆会場 加東市東条文化会館コスミックホール
- ◆入場料 1,000円

- Program -

1. Mozart : Divertimento Nr.2 KV439b
山本正治、磯部周平、十亀正司
2. Ponchielli : il convegno
亀井良信、サトーミチヨ Pf; 小澤佳永
3. Rodgers : My Favorite Things
Damase : Vacances
松本健司 Pf; 仲地朋子
4. Poulenc : Clarinet Sonata より 第一楽章
ブルックス・信雄・トーン Pf; 仲地朋子



コンサート予告

～第30回 日本木管コンクールクラリネット部門優勝者
第7回あおによし音楽コンクール奈良グランプリ受賞者を迎えて～

日本センチュリー交響楽団 加東特別公演

2020年3月7日(土)

開場/午後3時15分 開演/午後4時

会場/加東市東条文化会館コスミックホール



【30年間の日本木管コンクールの思い出】
～“オペレータークラブ”で活躍された
先輩ボランティアさんの声・こえ・声～

◎ 第1回目のコンクールから、オペレータークラブ(住民が声かけ合って集まり、それぞれ持ち前の技術や能力を生かして日本木管コンクールを支えてきたボランティア組織)の一員として、10年ほど舞台の設営などにかかわってきた。

出場者とボランティアが意気投合!! ミニ演奏会に



出場者の肩をポンとたたいて「頑張ってる!」と舞台へ送り出す。オペレーター仲間、入賞する人を予想し合って、その人が入賞するとみんなで大喜びしたものだ。素人でも音の良し悪し、演奏の上手下手が何となくわかって楽しかった。木管コンクールが来るたびに当時のことを思い出して懐かしい。今年は30回目のコンクール。もとオペレータークラブの老人が応援しています。

◎ 私は、オペレータークラブの全体の世話役をしていた。当時、舞台の設営や照明などの技術面をはじめ、案内や接待、広報など色々な分野にわりかかわってもらえそうな人に声をかけ、多くの人にオペレータークラブで活動していただいた。皆さん熱心な方ばかりで、本当に一生懸命がんばってくださった。

ちょうど10年前、日本木管コンクールクラリネット部門(2009.11.7～11.11)の時のこと。コンクールを終えた出演者が7～8人「お食事処まるぎ」に食事に来られた。その時何人かのオペレータークラブの我々も居合わせた。ねぎらいの言葉や「どちらから…」等々、言葉をかわすうちに、「ここでミニ演奏会をしよう」と意見がまとまり、お店の一室にわが作りの演奏会会場となった。独奏あり、二重奏あり。将来の夢なども語り合っ、それは楽しい、うれしい一夜となった。リクエストまで受けてもらい、私は、大好きなベニー・グッドマンの曲を演奏してもらった。本当に楽しかった。懐かしい思い出だ。

◎ コスモス賞の審査員をこの30年間に何回かやってきました。緊張して聴く中で“すばらしい”と思う演奏が何人か重なることも困りました。でも、自分が投票した人がコスモス賞に選ばれると嬉しくて、「私の耳も捨てたもんじゃない」といい気持ちになりました。

～ボランティアさんの感想～

【受付係から】

◎ ボランティアに参加し最初は少しとまどいましたが、皆さんのアドバイスをいただいて無事終わりました。遠くに心地よいクラリネットの音を聴きながら、非日常の一日でした。

◎ 午後から受付をさせていただきました。午前中の方がしっかりと流れを作ってくださっていたのでスムーズに流れたと思います。仕事を分担したり、分担をチェンジしたりしてどの仕事もできるようにしたのも良かったと思います。

◎ すぐく年寄りのおばあちゃんだけれど、初めてボランティアをやってみました。受付にいると次々と若者が楽器を背負ってやって来る。清々さと元気をもらった一日でした。

【配車係から】

◎ 何年かこの仕事にかかわっています。まずは演奏者の方々に今まで努力してきた力を十分に発揮してもらいたいと思っています。そのためには、安心して演奏にのぞんでいただけるよう、とにかく安全に、余裕をもって送迎することを心がけています。

昨年の日本センチュリー交響楽団 東条公演

H31.3.16

～第29回 日本木管コンクール優勝者 山本 英さん
第6回あおによし音楽コンクールグランプリ

杉山 和駿さんを迎えて～

東条コスミックホール恒例の「木管コンクール里帰りコンサート」。昨年7月に、優れた若手演奏家の育成をめざす「日本木管コンクール」・「あおによし音楽コンクール」・「日本センチュリー交響楽団」の三者が協定を結び、その一大プロジェクトとして、今回この素晴らしい特別公演が実現しました。

私たちにあって、コンクールから羽ばたかれた若き演奏者を再びこのホールにお迎えするのはこの上もない喜びで、心湧きたつ思いです。

あおによしグランプリ、ヴァイオリンの杉山さん、日本木管コンクール優勝者フルートの山本さん。お二人とも20歳という若さで初々しくも、美しく、かつ力強く、ダイナミックな演奏に魅了され、会場は感動に包まれました。

また、毎年恒例となった一般募集の合唱団「センチュリーと歌う会」70余名も参加。今回は、市内中学校吹奏楽部の選抜メンバーも加わり、加東市在住の作曲家保科洋先生の編曲による



「威風堂々」を高らかに演奏し、大興奮と大歓声のうちに幕を閉じました。

～出場者の方の感想～

◎ 兵庫県立芸術文化センターの楽団に席をおいています。この素晴らしい自然豊かな地のホールで、こんな大きなコンクールが出来ることは本当に光栄だと思えますよ。このコンクールはロンドンで出会った日本の友達を通じて知り、この度応募しました。とても気持ちよく演奏できました。

◎ ボランティアさんで運営されていて温かいコンクールだということを常々聞いていました。近年、こんなコンクールがだんだんなくなってきているので、この日本木管コンクールがあることは嬉しい限りです。

～加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動金)のご協力をお願いいたします～

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。QRコードをスマホ等で読み取っていただくと加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。

特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人 “新しい風かとう”」にお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください。
また、団体名をクリックしますと「特定非営利活動法人 “新しい風かとう”」のホームページをご覧ください。

～日本木管コンクール開催における 協賛金・ご寄附にご協力をお願いいたします～

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援して下さる個人の皆様の温かいご寄附とご協賛支援に支えられて取り組んでまいりました。

「この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならない」との思いと、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与した功績をご理解いただき、今後もコンクールを継続するためにもご協力を仰ぎたいと考えております。

どうぞ、皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。
詳しくは「特定非営利活動法人 “新しい風かとう”」又はQRコードをスマホ等で読み取ってご覧ください。



加東市東条文化会館
コスミックホール

ホームページ
http://cosmic-hall.org/

